

『臨床検査』 第 40 巻 総目次

1996 年 第 1 号—第 13 号

主題は特集ごとにまとめ、それ以外は欄外に表す。
数字は通巻頁数、() は号数。

今月の主題

- 1 号 検査室の安全管理
- 2 号 活性酸素と SOD
- 3 号 悪性リンパ腫
- 4 号 注目のグラム陽性菌
- 5 号 心筋梗塞の生化学的マーカー
- 6 号 性感染症(STD)
- 7 号 ニューロパチーの臨床検査
- 8 号 造血幹細胞
- 9 号 動脈硬化とリポ蛋白
- 10 号 糖尿病—診断・治療の指標
- 11 号(増刊号)血栓症と血小板凝固線溶系検査
- 12 号(11 月号)臨床化学と HPLC
- 13 号(12 月号)基準値

1 号 検査室の安全管理

〔巻頭言〕

検査室の安全管理の本質……………河合 忠… 5(1)

〔安全管理推進のためのガイドライン〕

CAP, NCCLS 提案の解説……………高橋 正宜… 7(1)

〔バイオハザードとその対策〕

検体検査の業務感染……………山根 誠久… 11(1)

生理機能検査の感染管理……………山本 誠一… 17(1)

病理解剖……………長嶋 洋治・井上 達… 23(1)

感染性廃棄物の適正処理……………松本昭一郎… 27(1)

〔安全管理と緊急対策〕

危険・有害物質の安全管理
……………吉良 尚平・武田 和久… 35(1)

機器・設備の安全管理

1. 電気設備の安全管理

生理検査機器……………小野 哲章… 43(1)

検体検査機器……………久保野勝男… 49(1)

2. RI 検査の安全管理

…阿部 良彦・広井 直樹・宮地 幸隆… 53(1)

作業災害と緊急対策……………森 雄一… 58(1)

付：保護具の種類と用途……………本多 紗絵… 65(1)

2 号 活性酸素と SOD

〔巻頭言〕

活性酸素と SOD ……………片山 善章… 123(2)

〔活性酸素と SOD と基礎知識〕

活性酸素の生成と生理的意義……………坂岸 良克… 125(2)

活性酸素と組織傷害

……………高橋 周史・吉川 敏一・近藤 元治… 132(2)

SOD の種類と生理的意義

……………小川 健一・浅田 浩二… 137(2)

SOD の細胞内分布と修飾

……………鈴木敬一郎・谷口 直之… 147(2)

〔活性酸素と SOD の測定法〕

活性酸素の測定法……………中野 稔・桜井 一志… 153(2)

SOD の測定法—臨床的意義との関連

……………福島 啓吾・一二三恵美・宇田 泰三… 160(2)

〔活性酸素と病態〕

心筋虚血…星合清隆・中澤 博江・広田 有希… 166(2)

脳虚血…北川 一夫・松本 昌泰・鎌田 武信… 171(2)

糖尿病—フリーラジカルと抗酸化機

構の変動……………朝山光太郎… 176(2)

肝疾患……………黒瀬 巖・石井 裕正… 181(2)

腎疾患……………青柳 一正… 188(2)

自己免疫疾患……………神宮 政男… 192(2)

癌……………児玉 昌彦… 197(2)

3 号 悪性リンパ腫

〔巻頭言〕

悪性リンパ腫と検査……………神山 隆一… 255(3)

〔カラーグラフ〕

悪性リンパ腫における末梢血液像と

骨髓像……………塚崎 邦弘・朝長万左男… 257(3)

〔総論〕

非ホジキンリンパ腫の新しい分類—

REAL 分類とその意義 ……………元井 信… 263(3)

ホジキン病の分類と病態……………北川 昌伸… 271(3)

悪性リンパ腫の検査の進め方と治療

……………厨 信一郎… 279(3)

〔技術解説〕

遺伝子検査……………杉本 耕一・押味 和夫… 285(3)

染色体検査

……………藤原 睦憲・佐藤 美帆

向井 裕幸・佐藤 均… 291(3)

免疫染色と表面マーカー……………小林 晏… 297(3)

迅速組織診……………糸山 進次… 303(3)

細胞診……………中村 忍… 307(3)

血清免疫グロブリン検査

……………伊藤 喜久・大原 智子… 313(3)

〔話題〕

罹患率の民族差……………田島 和雄… 319(3)

ホジキン病の概念とホジキン細胞の

起源……………難波 紘二… 322(3)

マントル細胞リンパ腫……………出雲 俊之… 324(3)

MRI と悪性リンパ腫の骨髓浸潤

……………高木省治郎・田中 修… 327(3)

4 号 注目のグラム陽性菌

〔巻頭言〕

グラム陽性菌をめぐる最近の話題

……………猪狩 淳… 377(4)

〔ブドウ球菌〕

MRSA の耐性獲得の遺伝学

……………村上 博子・平松 啓一… 381(4)

コアグラゼ陰性のブドウ球菌の新

分類……………江崎 孝行・河村 好章… 387(4)

〔レンサ球菌〕

劇症型 A 群レンサ球菌感染症

……五十嵐英夫・柏木 義勝・遠藤美代子
奥野 ルミ・榎田 隆一…………… 392(4)

Streptococcus milleri group

……………新里 敬・草野 展周… 399(4)

B 群レンサ球菌による新生児感染症

……………松田 静治… 404(4)

新しいレンサ球菌同定キット……………河村 好章… 409(4)

〔肺炎球菌〕

喀痰からの分離・同定……………小栗 豊子… 417(4)

ペニシリン耐性肺炎球菌の疫学

……………山崎 透・那須 勝… 425(4)

ペニシリン耐性肺炎球菌の耐性機構

……………久我 明男・井上 松久… 431(4)

ペニシリン耐性肺炎球菌のスクリー

ニング……………古谷 信彦・山口 恵三… 437(4)

〔腸球菌〕

腸球菌の高度薬剤耐性—ゲンタマイ

シン・ペニシリン・バンコマイ

シン耐性……………池 康嘉… 443(4)

尿路感染症と腸球菌群……………広瀬 崇興… 449(4)

5 号 心筋梗塞の生化学的マーカー

〔巻頭言〕

心筋梗塞診断のための血液化学的検

査の変遷……………河合 忠… 503(5)

〔総説〕

心筋梗塞の生化学的診断法

……………西村 敬史・矢崎 義雄… 505(5)

〔心筋(細胞)逸脱酵素の臨床検査・総論〕

心筋(細胞)逸脱酵素の考え方……………前川 真人… 513(5)

〔心筋(細胞)逸脱酵素の臨床検査・各論〕

CK-MB 活性および蛋白量……………片山 善章… 519(5)

CK アイソフォーム ……安部 智・田中 弘允… 525(5)

m-AST/s-AST 比 ……米田 孝司・片山 善章… 531(5)

LD₁ アイソザイム

……岡部 紘明・杉内 博幸・宇治 義則… 539(5)

ホスホグリセリン酸ムターゼ(PGAM)

……………林 泰三… 545(5)

〔心筋構造蛋白の臨床検査・総論〕

心筋構成(構造)蛋白の考え方……………高木 康… 550(5)

〔心筋構造蛋白の臨床検査・各論〕

ミオシン……………永井 良三… 555(5)

トロポニン T

……清野 精彦・富田 喜文・星野 公彦

子島 潤・高野 照夫・説田 浩一… 559(5)

〔心筋細胞質蛋白の臨床検査・総論〕

心筋細胞質蛋白の考え方……………岡部 紘明… 565(5)

〔心筋細胞質蛋白の臨床検査・各論〕

ミオグロビン……………石井 潤一・石川 隆志… 570(5)

心筋型脂肪酸結合蛋白(h-FABP)

……………田中 孝生・宗宮 浩一

岡本 文雄・河村慧四郎… 575(5)

〔話題〕

トロポニン I ……………高木 康… 581(5)

6 号 性感染症(STD)

〔巻頭言〕

STD とは ……………猪狩 淳… 629(6)

〔総説〕

わが国における性感染症の現状と問

題点—STD 疫学調査からみた考察

……………熊本 悦明… 631(6)

産婦人科からみた STD ……………川名 尚… 639(6)

STD 検査法の課題 ……松本 哲朗・熊澤 淨一… 645(6)

〔病原体と病態〕

リン菌……………荒川 創一… 651(6)

クラミジア・トラコマティス

……………佐久本 操・松本 哲朗… 655(6)

単純ヘルペスウイルス……………和田 順子… 659(6)

ヒト乳頭腫ウイルス…岩坂 剛・杉森 甫… 663(6)

ヒト免疫不全ウイルス……………松田 重三… 669(6)

〔検査法とその問題点〕

顕微鏡による同定

細胞診……………広川 満良・椎名 義雄… 673(6)

免疫組織化学と *in situ* hybrid-

ization 法 ……………堤 寛… 679(6)

新しい免疫学的検査法・遺伝子診断法

リン菌—非培養検出法

……………小島 弘敬・高井 計弘… 687(6)

クラミジア・トラコマティス…広瀬 崇興… 693(6)

単純ヘルペスウイルス

……………新村 真人・本田まりこ… 699(6)

ヒト乳頭腫ウイルス……………菅生 元康… 702(6)

ヒト免疫不全ウイルス

……………橋田 誠一・橋中 一也… 706(6)

〔話題〕

HIV の長期未発症とその意味する

もの……………玉川 重徳… 714(6)

尿中 HIV 抗体検出 ……………吉原なみ子… 717(6)

ニューキノロン薬耐性リン菌……………小野寺昭一… 720(6)

7 号 ニューロパチーの臨床検査

〔巻頭言〕

ニューロパチーの臨床検査……………木村 淳… 757(7)

〔総説〕

ニューロパチーの病態とその病因

……………安田 武司・祖父江 元… 760(7)

脱髄の電気生理学……………梶 龍児… 767(7)

軸索変性の電気生理学……………馬場 正之… 771(7)

〔技術解説〕

運動神経伝導検査……………尾崎 勇… 779(7)

感覚神経伝導検査……………長谷川 修… 786(7)

マクロ筋電図・単一筋線維筋電図…有村 公良… 793(7)

F 波伝導検査……………幸原 伸夫… 800(7)

〔話題〕

ニューロパチーと sympathetic

skin response(SSR) ……………横田 隆徳… 808(7)

体性感覚誘発電位による末梢感覚神 経伝導の観察	……高田 博仁・尾崎 勇・馬場 正之… 811(7)
MRI からみた Carpal Tunnel 症候 群……………杉本 英治… 814(7)	
シャルコー・マリー・トゥース病の遺 伝子解析	……早坂 清・池田 博行・池上 徹… 817(7)
ギラン・バレー症候群とガングリオ シド抗体……………楠 進… 821(7)	
ニューロパチーの診断に神経バイオ プシーは必要か……………馬場 正之… 824(7)	

8号 造血幹細胞

〔総説〕	
造血のしくみー最新の理解……………溝口 秀昭… 875(8)	
〔技術解説〕	
造血幹細胞の同定	
骨髄長期培養法による未分化造 血前駆細胞の同定	……横田 朗・張ヶ谷健一… 885(8)
<i>in vitro</i> コロニーアッセイ……………池淵 研二… 891(8)	
造血幹細胞の表面抗原……………小松 則夫… 896(8)	
造血幹細胞の増幅……………辻 浩一郎・中畑 龍俊… 901(8)	
造血幹細胞の採取とその性状	
CD 34 陽性細胞……………高橋 聡… 907(8)	
自己末梢血造血幹細胞	
……………木山 善雄・笠井 正晴… 915(8)	
同種末梢血造血幹細胞……………石田 明… 921(8)	
臍帯血移植の現状と展望……………加藤 俊一… 926(8)	
〔造血幹細胞の臨床〕	
非血縁者間同種骨髄移植の現状と成 績……………得平 道英・岡本真一郎… 931(8)	
造血幹細胞への遺伝子導入とその応 用……………服部 豊… 939(8)	
〔話題〕	
造血幹細胞と接着分子	
……………石川 淳・金倉 譲… 946(8)	
トロンボポエチン(Thrombopoietin ; TPO)	
……堀江かおり・宮崎 洋・加藤 尚志… 948(8)	

9号 動脈硬化とリポ蛋白

〔巻頭言〕	
動脈硬化とリポ蛋白……………片山 善章… 995(9)	
〔総説〕	
血清リポ蛋白代謝と動脈硬化惹起性 リポ蛋白……………山村 卓… 997(9)	
〔TG-rich リポ蛋白〕	
トリグリセリド(TG)……………及川 真一…1009(9)	
リポ蛋白リパーゼ(LPL)と肝性ト リグリセリドリパーゼ(HTGL)	
……………池田 康行・高木 敦子…1013(9)	
レムナント様リポ蛋白(RLP)……………多田 紀夫…1023(9)	
〔低比重リポ蛋白〕	
small, dense LDL	

……芳野 原・平野 勉・鹿住 敏…1031(9)	
酸化低比重リポ蛋白(LDL)	
……………長 幹麿・北 徹…1037(9)	
〔コレステロールエステル転送蛋白〕	
コレステロールエステル転送蛋白 (CETP)……………山下 静也・松澤 佑次…1043(9)	
リポ蛋白 A-I(LpA-I)	
……………近藤 和雄・蔵田 英明 貴堂としみ・板倉 弘重…1051(9)	
〔アポ蛋白の多型性〕	
アポ蛋白 E……………山田 信博…1057(9)	
Lp(a) フェノタイプの測定法と意義	
……………野間 昭夫…1063(9)	
〔話題〕	
高比重リポ蛋白-コレステロール (HDL-C)直接測定法	
……………藤田 誠一・片山 善章…1068(9)	
新しい酸化低比重リポ蛋白(LDL) レセプター-CD 36	
……………野崎 秀一・松澤 佑次…1072(9)	

10号 糖尿病ー診断・治療の指標

〔巻頭言〕	
早期, 軽症時からの徹底した管理を	
……………河盛 隆造…1111(10)	
〔病態〕	
血糖応答曲線から何を読み取るか…河盛 隆造…1115(10)	
インスリン分泌能の把握	
……………羽倉 稜子・吉田 洋子…1121(10)	
インスリン抵抗性の把握	
……………佐藤 義憲・佐藤 譲…1127(10)	
〔技術解説〕	
血糖自己測定の精度管理……………内潟 安子…1131(10)	
グリコアルブミン……………田中 逸…1137(10)	
1,5 アンヒドログルシトール(1,5 AG)……………山内 俊一…1143(10)	
ケトン体……………洪 尚樹…1149(10)	
GAD 抗体……………小林 哲郎…1155(10)	
AGE……………藤井 渉・牧田 善三…1161(10)	
〔話題〕	
HbA _{1c} の測定の標準化……………片山 善章…1169(10)	
非観血的血糖測定装置……………菊地 真…1175(10)	
〔座談会〕	
糖尿病管理に対する臨床データの有 効利用法……………〈司会〉河盛 隆造 〈出席〉遅野井健・松葉育郎…1177(10)	

12号(11月号) 臨床化学とHPLC

〔巻頭言〕	
臨床化学と HPLC……………片山 善章…1235(12)	
〔総説〕	
医療と HPLC……………福島 健・今井 一洋…1237(12)	
HPLC 技術最近の進歩……………高井 信治…1243(12)	
HPLC の診断への応用……………野崎 修…1247(12)	
〔技術解説〕	
血中・尿中カテコールアミンおよび	

その代謝物……………辻	哲・片山	善章…1252(12)
脳内アミン……………眞重	文子…1259(12)	
グリコヘモグロビン(HbA _{1c})		
……………星野	忠夫・岡橋美貴子…1268(12)	
グリコアルブミン……………安川	恵子・西村	理…1275(12)
リポ蛋白……………岡崎	三代…1281(12)	
ビリルビン		
……………坪田	博幸・佐藤	悦子・片山
尿酸・クレアチニン……………大澤	進…1299(12)	
尿酸値……………越智	正昭・徳永	賢治…1304(12)
〔話題〕		
HPLC 法による HDL-C の測定		
……………岡崎	三代・柳澤	勉…1309(12)
HPLC 法による LDL 粒子サイズの		
分析……………山村	卓・木田	一成…1314(12)

13 号(12 月号) 基準値

〔巻頭言〕

基準値がなぜ注目されているのか

……………河合	忠…1359(13)
---------	------------

〔総説〕

臨床検査精度保証での基準値(目標

値)……………片山	善章…1361(13)
-----------	-------------

臨床的意志決定での基準値の意味と

使い方……………河合	忠…1369(13)
------------	------------

〔健康に関連した基準値〕

個人的健康値と生理的変動幅……………田村

政紀…1373(13)	
-------------	--

基準範囲

1. NCCLS—C 28 A の内容概説	
-----------------------	--

……………菅野	剛史…1379(13)
---------	-------------

2. 基準範囲の設定における基準

個体の選別・統計処理上の問	
---------------	--

題点と対応……………市原	清志…1383(13)
--------------	-------------

3. 共同作業による基準範囲設定

の共同利用……………伊藤	喜久…1393(13)
--------------	-------------

臨床参考範囲……………白井	敏明…1399(13)
---------------	-------------

〔病態識別値〕

成人病健診における判断基準……………後藤

由夫…1403(13)	
-------------	--

ROC 曲線の求め方と注意点……………三宅

一徳…1409(13)	
-------------	--

腫瘍マーカーのカットオフ値……………大倉

久直…1415(13)	
-------------	--

パニック値……………松尾

収二…1421(13)	
-------------	--

血中薬物濃度治療域……………藤村

昭夫・坂本	公一…1427(13)
-------	-------------

〔診断基準〕

糖尿病の診断基準……………金澤

康德…1433(13)	
-------------	--

高脂血症の判断基準……………中村

治雄…1435(13)	
-------------	--

高尿酸血症の診断基準……………加賀美年秀

…1437(13)	
-----------	--

免疫グロブリン欠乏症(原発性)の診

断基準……………窪田哲朗	…1440(13)
--------------	-----------

呼吸不全(血液ガス異常)の診断基準

……………川上	義和…1442(13)
---------	-------------

蛋白尿の診断基準……………鈴木	亨・下条	文武…1443(13)
-----------------	------	-------------

窒素血症の診断基準……………鈴木	亨・下条	文武…1444(13)
------------------	------	-------------

シリーズ最新医学講座—遺伝子診断

〔Technology 編〕

DNA, RNA の抽出

〔 4 〕

臨床検査・第 40 巻・総目次 1996 年(第 1 号—第 13 号)

……………船渡	忠男・大川	淳雄… 73(1)
ハイブリダイゼーション(総論)		
……………川口	竜二・引地	一昌… 203(2)
FISH 法による染色体検査		
……………寺崎	浩司・島津	光伸・山森
俊治… 331(3)		
PCR 法……………宮地	勇人… 457(4)	
HPA 法……………石田	一雄・賀来	満夫… 585(5)
RFLP 法……………戸田	年総… 725(6)	
制限酵素の種類と使い方		
……………中川原寛一・森	光子・三岡	周子… 826(7)
PAG 電気泳動の実際……………須藤加代子	… 955(8)	
アガロースゲル電気泳動の実際……………須藤加代子	…1075(9)	
パルスフィールドゲル電気泳動法		
……………大原	智子・伊藤	喜久…1191(10)
DNA 修飾酵素の種類と使い方		
……………中川原寛一・森	光子	
三岡	周子・稲毛	礼子…1317(12)
遺伝子検査室のデザインの基礎……………引地	一昌…1447(13)	

〔Application 編〕

遺伝子診断の現状……………河合

忠… 69(1)	
----------	--

出生前診断

……………種村	光代・鈴森	薫・八神
---------	-------	------

喜昭… 209(2)	
------------	--

HIV……………大渡	五月・栗村	敬… 336(3)
------------	-------	-----------

C 型肝炎ウイルス……………小原	道法… 463(4)	
------------------	------------	--

抗酸菌……………岡田	淳・田澤	義明… 589(5)
------------	------	------------

MRSA……………伊藤	輝代・平松	啓一… 729(6)
-------------	-------	------------

B 型肝炎ウイルス……………阿部	賢治… 836(7)	
------------------	------------	--

サイトメガロウイルス……………柴田	元博… 959(8)	
-------------------	------------	--

HTLV-I……………田口	博國…1079(9)	
---------------	------------	--

リン病……………松井	隆・荒川	創一・守殿
------------	------	-------

貞夫…1197(10)	
-------------	--

クラミジア・トラコマチス

……………宮下	修行・松島	敏春…1326(12)
---------	-------	-------------

肺炎マイコプラズマ

……………石田	一雄・賀来	満夫・嶋田甚五郎…1451(13)
---------	-------	-------------------

質疑応答

〔臨床化学〕

アルフォスのアイソザイム……………正田

孝明… 475(4)	
------------	--

食事による血中アンモニア濃度の変

化……………伏見	了・松井	昌彦…1088(9)
----------	------	------------

ミクロゾームトリグリセリド転送蛋

白の基質異常・機能異常検査	
---------------	--

……………横出	正之・北	徹…1208(10)
---------	------	------------

血清中のシスタチン C, β_2 -マイク

ログロブリンの同時測定, 測定	
-----------------	--

値比率算定の意義……………伊藤	喜久…1459(13)
-----------------	-------------

〔血液〕

アスピリン血中濃度測定の意義……………松田

保… 349(3)	
-----------	--

EDTA 採血管中で見られる血液凝

固……………武内	恵… 739(6)
----------	-----------

解糖阻止剤添加血液の血漿分離まで

の時間による血糖値の変化	
--------------	--

……………藤原佐千子・都築久美子・光吉	慶生… 968(8)
---------------------	------------

〔輸血〕

輸血用赤血球製剤中のカリウム濃度

の変化……………浅井	隆善… 600(5)
------------	------------

輸血による抗体の産生時間……………浅井 隆善…1337(12)	
〔免疫血清〕	
サンドイッチ ELISA 法によるケラ	
タン硫酸の測定	
……花嶋美奈子・高岸 憲二・糸満 盛憲… 850(7)	
〔微生物〕	
<i>Streptococcus constellatus</i> は β 溶血	
を示すか……………設楽 政次… 350(3)	
好酸球増多を伴うブタ回虫症の検査	
法……………赤尾 信明・藤田紘一郎… 476(4)	
髄膜のような無菌的な場所になぜウ	
イルスがいるのか……………庄司 紘史… 602(5)	
〔臨床生理〕	
R-R 間隔のパワースペクトル解析	
で得られる情報……………沼澤てるひこ… 852(7)	
トレッドミル運動負荷試験時の電極	
接着法……………日岡 美苗… 972(8)	
アース接線の必要性……………白井 康之…1210(10)	
シールドマットの必要性……………白井 康之…1211(10)	
〔一般検査〕	
便潜血反応で触媒法が陰性で、免疫	
法で陽性の起こる原因……………三宅 一徳… 222(2)	
尿沈渣中の封入体細胞……………伊藤 機一… 223(2)	
〔診断学〕	
感染症診断における PCR の利用 ……安岡 彰…1339(12)	
〔検査機器〕	
Surface Plasmon Resonance の原	
理と臨床検査への応用……………田中 孝治… 86(1)	
〔その他〕	
デジタルスチルカメラの利用……………鹿島 哲… 87(1)	
携帯電話による医療機器誤作動……………小野 哲章… 740(6)	
百科事典の CD-ROM 版の利用……………鹿島 哲…1089(9)	

研 究

定量法を含めた便潜血検査法の現状	
と問題点……………新井 智子・塚田 敏彦… 93(1)	
特定酵素基質培地法(MMO-MUG	
法)を使用した飲料水中の大腸	
菌群検査	
……木村 智子・肥留川仁志・山口マリ子	
大道 正義・長谷川修司 …………… 101(1)	
白血球 DNA 定量に及ぼすホルマリ	
ン固定の影響	
……桑岡 勲・中西 和夫・長谷 一憲	
山崎亜矢子・桑名 恭子・坂田 優美	
古賀 順子・長家 尚…………… 227(2)	
慢性関節リウマチ患者における免疫	
グロブリンクラス別リウマトイ	
ド因子測定	
……北橋 繁・水原 祐次・松井 正	
巽 典之・小池 達也・油谷 安孝… 231(2)	
SPM 法による年代別脳電位図法の	
検討	
……田村 東子・川名ふさ江・石山 陽事… 353(3)	
定量脳波分析による平均電位基準電	
極の活性度の検討	

……森 大輔・四宮 滋子・井上 令一	
木田 享・阿佐野幸子・大堀 俊子	
星野 逸子…………… 359(3)	
当院で経験したまれな感染症の 2 症	
例—マンソン住血吸虫症と大複	
殖門条虫症	
……宇田川郁子・甲田 雅一・福原 淳子	
竹内 美香・蓮沼 剛・松崎 廣子… 365(3)	
多項目自動分析装置における PLT	
Clumps および RBC Aggluti-	
nation に関する IP メッセージ	
の評価	
……内田けい子・熊谷 崇・熊谷エツ子	
大塚 邦子・岡寄公士朗・宇治 義則	
岡部 紘明・楠田 元春…………… 481(4)	
睡眠時呼吸障害例に対する睡眠脳波	
自動解析装置(MEDILOG	
Sleep Analysing Computer,	
DEE-1100)の有用性	
……板坂 芳明・宮崎総一郎・多田 裕之	
戸川 清…………… 487(4)	
好酸球性胸水の臨床病理学的検討	
……畠 榮・横山奈穂子・大倉 貢	
広川 満良…………… 603(5)	
ヒト IgM 型抗マウス抗体(HAMA)	
による血清 CA-125 測定におけ	
る偽陽性反応の解析	
……森山 隆則・上原 聡・鷲尾 明子	
信岡 学・池田 久實…………… 607(5)	
呼吸を刺激法として用いた SSR	
(sympathetic skin response)	
の検討	
……吉良 保彦・荒巻 駿三・小倉 卓	
平澤 泰介…………… 611(5)	
尿中 α_2 -マクログロブリンのラテッ	
クス免疫比濁測定法の確立	
……山口 哲司・伊藤 喜久・浅野 泰	
河合 忠…………… 855(7)	
ミエロペルオキシダーゼを免疫学的	
に測定する新しい尿中白血球の	
検出法	
……後藤 明子・内田 堯夫・冨田 仁… 859(7)	
男子尿道炎患者における尿沈渣中白	
血球数	
……甲田 雅一・村橋 勲・清水 有二	
宇田川郁子・福原 淳子・竹内 美香	
松崎 廣子…………… 975(8)	
<i>Helicobacter pylori</i> 除菌後の血清	
IgG 抗体価の推移	
……櫻井 伊三・浪岡 知子・野田 幸一	
久住 幸一・箱崎 幸也・大庭 健一	
桑原 紀之…………… 981(8)	
RT-PCR 法を用いた遺伝子発現の	
定量的解析—FITC 標識プライ	
マーと DNA シークエンサーを	
組み合わせた高感度解析	

……吉田 祥子・北川 昌伸・神山 隆一……1093(9)
カラムスイッチング HPLC 法による
血中バンコマイシン測定
……北橋 俊博・大場 康寛……1097(9)
末梢血幹細胞採取時期決定における
網赤血球強蛍光分画の有用性
……岡田 恭孝・小池 考一・萩野 真子
伊藤 妙・神村 信吾・安藤 学
新海 佳子・矢神 幸子・桑原 正喜
有吉 寛 ……1213(10)
病理検査室における溶媒再生に関する
基礎的検討
……中村 圭吾・八木 健一・西村千枝子
谷口恵美子・横井 豊治・覚道 健一……1219(10)

資料

QBC マラリア診断装置の使用経験	……吉田 定信…	105(1)
採血管自動準備装置・システム	……今野 稔…	109(1)
妊娠・非妊娠の <i>Chlamydia</i> 抗原検 出および年度別・年齢別の陽性 率	……山本 豊・松本 裕史…	237(2)
TMA-HPA 法による HLA-DRB1 タイピングキットの評価	……平田 蘭子・前田 平生・菅野 優子 安田 広康・大戸 齊…	241(2)
多項目自動血球分析装置“SE- 9000”における幼若白血球検出 能の評価	……岡田 恭孝・安藤 学・神村 信吾 新海 佳子・矢神 幸子・桑原 正喜 小池 考一・有吉 寛…	491(4)
同一試料ガスを用いた3種の ¹³ CO ₂ 呼吸分析装置の比較検討	……野田 温也・立川 哲也・大住 孝彦 梶原 正宏…	617(5)
迅速細胞診誤判定例の検討	……鐵原 拓雄・安部 陽子・大杉 典子 三宅 康之・畠 榮・立川 満良…	743(6)
PCR 法による喀痰中の結核菌の検 出	……竹内 悦男・高井 元彦・北川 正晴 横田総一郎…	747(6)
<i>Helicobacter pylori</i> 輸送培地(ボル タジャー・ピロリ)の検討	……大内 裕敬・林 俊治・木村 浩一 塚本 尚行・加藤 元嗣・西川 恵子 工藤 峰生・浅香 正博・藤井 暢弘…	1101(9)
EIA 法および IRMA 法によるプロ ラクチン(PRL)測定値の差違一 重量単位および生物活性単位の 評価	……内田 弘行・古籬 敏文…	1341(12)

編集者への手紙

セディア-ジゴキシン II の各種
COBAS MIRA 自動分析装置
による再現性……山田 満廣… 369(3)

血液の保存条件が血中抗利尿ホルモ
ン濃度測定値に及ぼす影響
……西山 友貴・久保田 敦・花岡 一雄… 479(4)

増刊号〈血栓症と血小板凝固線溶系検査〉

序 血栓症と血小板凝固線溶系検査	池田 康夫	7(11)
〔血栓症の病態〕		
1. 血栓症のカラーグラフ	由谷 親夫	10(11)
2. 血栓形成のしくみ		
1) 血栓症の実験モデル	居石 克夫	16(11)
2) 血小板系	渡辺 清明	22(11)
3. 凝固・凝固制御因子系		
	森下英理子・松田 保	25(11)
4) 線溶系	岡田 清孝・松尾 理	29(11)
5) 血管内皮細胞	小嶋 哲人	33(11)
3. 動脈硬化と血栓症	岸 幸夫	37(11)
4. 血栓傾向		
1) 先天性血栓傾向	高松 純樹	42(11)
2) APC レジスタンス		
	藤村 博信・上林 純一	45(11)
3) 抗リン脂質抗体症候群	鎬木 淳一	48(11)
4) 薬剤性血栓傾向	新倉 春男	51(11)
5. DIC	岡嶋 研二	55(11)
6. TTP/HUS	高橋 芳右	61(11)
〔血栓症の検査〕		
1. 血小板の検査		
1) 血小板数	鈴木 節子	66(11)
2) 血小板凝集能	松野 一彦	69(11)
3) 血小板停滞率	玉井 佳子・高見 秀樹	73(11)
4) 粘着能	富山 佳昭	75(11)
5) 散乱光を用いた粒子計測法による血小板凝集能		
	佐藤 金夫・尾崎由基男・矢富 裕	
	久米 章司	77(11)
6) ざり応力凝集能	小田 淳	81(11)
7) 血小板由来マイクロパーティクルの検出		
	野村 昌作	84(11)
8) TXA 生成能, 血漿 TXB	森田 育男	87(11)
9) β -TG	西郷 勝康・寮 隆吉	91(11)
10) PF-4	西郷 勝康・寮 隆吉	93(11)
11) 血漿グリコカリシン	国島 伸治	95(11)
2. 血液凝固系の検査		
1) APTT, PT, フィブリノゲン		
	福武 勝幸	99(11)
2) AT III	新谷 憲治	105(11)
3) プロテイン C, プロテイン S		
	鈴木 宏治	109(11)
4) APC・PCI 複合体	鈴木 宏治	113(11)
5) F1+2	刈尾 七臣・宮田 敏行	117(11)
6) TAT	東原 正明・宮崎 浩二	121(11)
7) SFMC	日笠 聡・垣下 榮三	123(11)
8) FPA	高橋 芳右	125(11)
9) ヘパリンコファクター II		
	近藤 信一・小出武比古	128(11)

10) 組織因子	中村 伸	131(11)
11) APC レジスタンス	藤村 博信・上林 純一	135(11)
12) ループス・アンチコアグラント	滝 正志・安室 洋子	138(11)
13) 抗カルジオリピン抗体	松浦 栄次・小池 隆夫	141(11)
3. 線溶系の検査		
1) FDP	川合 陽子	147(11)
2) FDP-D ダイマー	川合 陽子	152(11)
3) プラスミノゲン	広沢 信作	155(11)
4) PIC	広沢 信作	158(11)
5) t-PA, ウロキナーゼ	上嶋 繁・松尾 理	161(11)
6) PAI-1	三室 淳	165(11)
7) tPA/PAI-1 複合体	三室 淳	168(11)
8) B β フラグメント	山角 健介・愛甲 孝	170(11)
9) Lp(a)	川合 眞一・浅沼 ゆう・鍋木 淳一	173(11)
4. 血管内皮細胞の検査		
1) トロンボモジュリン	井手 章子・丸山 征郎	177(11)
2) TFPI	久米田幸介・加藤 久雄	181(11)
3) フォンビルブランド因子	藤村 吉博	186(11)
4) 血漿 P-セレクチン	半田 誠	191(11)
5) PGI ₂ 生成能・尿中 2,3-din-or-6-keto-PGF _{1α}	安藤 泰彦	195(11)
5. 遺伝子検査		
1) AT III	増田 治史・辻 肇	199(11)
2) プロテイン C, プロテイン S	山崎 鶴夫	203(11)
3) プラスミノゲン	大江 麻子・一瀬 白帝	206(11)
4) Lp(a)	一瀬 白帝	209(11)
5) 凝固第 V 因子 ¹⁶⁹¹ G/A (⁵⁰⁶ Arg/Gln)	座間 猛・村田 満	213(11)
6. 画像診断		
1) 血小板シンチグラフィ	塚田 理康・斉藤 京子・村田 啓	216(11)
2) カラードブラ	伊藤 泰司・松本 昌泰	222(11)
3) サーモグラフィ	松岡 瑛・芝田 宏美・山下 勉	227(11)
〔血栓性疾患と検査〕		
1. 冠動脈疾患	野村 周三・本宮 武司	232(11)
2. 心腔内血栓	三橋 武司・島田 和幸	236(11)
3. 虚血性脳血管障害	浜野 均・篠原 幸人	240(11)
4. 頸動脈内血栓	内山真一郎・山崎 昌子・橋口 孝子	245(11)
5. 深部静脈血栓症	折井 正博	251(11)
6. 閉塞性動脈硬化症	新本 春夫・重松 宏	257(11)
7. DIC	櫻川 信男	263(11)
8. TTP/HUS	藤村 欣吾	267(11)

〔血栓症治療薬とモニター検査〕

1. 抗血小板剤	中井 桂司・長屋章三郎・西川 政勝	272(11)
2. ヘパリン	青崎 正彦・上塚 芳郎	276(11)
3. ワルファリン	中川 雅夫	283(11)
4. t-PA, ウロキナーゼ	後藤 信哉・半田俊之介	287(11)

〔ミニ情報〕

遺伝子組換え型トロンボモジュリン	広沢 信作	28(11)
ヘマトクリットと止血・血栓	半田 誠	41(11)
トロンボモジュリン欠損症	丸山 征郎	60(11)
レオロジーと血管内皮細胞	川合 陽子	64(11)
PAI-2	新谷 憲治	72(11)
遺伝子組換え第 IX 因子	高松 純樹	112(11)
網血小板測定	武内 恵	116(11)
出血時間創からの出血パターン解析	高見 秀樹	130(11)
好中球エラスターゼと血液凝固	岡嶋 研二	134(11)
トロンボポエチンによる血小板活性化	小田 淳	137(11)
Mg ²⁺ 依存性血液凝固系	関屋富士男	157(11)
ヒルジンとその誘導体	新谷 憲治	190(11)
抗 GP II _b /III _a アンタゴニスト	小田 淳	194(11)
DIC と炎症性サイトカイン	岡嶋 研二	202(11)
ヒスチジンリッチグリコプロテイン	東 博之	221(11)
ビトロネクチンと線溶系	朝倉 伸司	239(11)
偽性血小板減少症	加藤 淳	244(11)
活性化血小板の検出法	野村 昌作	266(11)
糖化蛋白と血栓症	丸山 征郎	270(11)
血栓症と連関する遺伝子ポリモルフィズム	村田 満・松原由美子	292(11)

トピックス

エンドトキシンによるプログラム細胞死(アポトーシス)	加藤 豊・横地 高志	79(1)
イムノアッセイに干渉するイムノグロブリン	橋本 琢磨	80(1)
“Managed care” — 試練に立つアメリカの医療(第 47 回米国臨床化学会に参加して)	加野象次郎	82(1)
フローサイトメトリーを用いた尿中単核球の解析—腎疾患診療への応用	堀田 修	214(2)
ポリフェノールと健康	板倉 弘重	216(2)
ビタミン E とストレス	平原 文子	218(2)
血清アミロイド A 4(SAA 4)	山田 俊幸	220(2)
Epstein-Barr ウイルスの <i>in situ</i> hybridization 法による検索	大石 勉・荒井 孝	341(3)
含浸標本(プラスチックネーション)作製法	三宅 康之	343(3)

IL-12 の産生とその測定法	丸尾 聖爾・藤原 大美	345(3)	臨床病理』	椎名 義雄	78(1)
Diff-Quik 染色	広川 満良	347(3)	『肝の画像診断』	板井 悠二	92(1)
SPR センサー	戸谷 誠之	468(4)	『日本の医療費—国際比較の視角から』	岡本 悦司	146(2)
複雋型子宮内膜増殖法	中島 伸夫	469(4)	『細胞診のベーシックサイエンスと臨床病理』	矢谷 隆一	213(2)
食物繊維摂取法の評価指標	辻 啓介	470(4)	『臨床検査技術学 [6] 生理学』	井上 通敏	230(2)
細菌と熱ショック蛋白質	西村 仁志・吉開 泰信	472(4)	『細胞診のベーシックサイエンスと臨床病理』	元井 信	262(3)
ミトコンドリア DNA 異常症	良本佳代子・原納 優・片山 善章	595(5)	『肝の画像診断』	高安 賢一	270(3)
ミニセルによる遺伝子産物の解析	松浦 基博	596(5)	『Macintosh によるパワー・プレゼンテーション』	井上 一知	278(3)
ウイルス感染病態における NO の意義	赤池 孝章	598(5)	『日本の医療費—国際比較の視角から』	若月 俊一	312(3)
Multilobated B 細胞リンパ腫	畠 榮・広川 満良	734(6)	『Computed Radiography 入門—臨床医に必要な基礎知識』	大宮 東生	380(4)
CETP-コレステリルエステル転送蛋白	稲津 明広・小泉 順二・馬淵 宏	736(6)	『標準救急医学』第 2 版	吉成 道夫	403(4)
アルカリ性ホスファターゼ	小山 岩雄・菰田 二一	843(7)	『人間ドックマニュアル—健康評価と指導のポイント』第 2 版	原島 三郎	436(4)
凝集コロイド	広川 満良	844(7)	『泌尿器科ベッドサイドマニュアル』	小野寺昭一	442(4)
肺癌発生における mucous cell hyperplasia - adenoma - carcinoma sequence (粘液細胞過形成-腺腫-癌腫連鎖)-癌遺伝子 Ki-ras codon 12 突然変異の立場から	柳澤 昭夫	846(7)	『Guides to Clinical Aspiration Biopsy Head and Neck』(2nd ed)	坂本 穆彦	512(5)
塩素と血圧	奥田 拓道	964(8)	『Differential Diagnosis of Lymphoid Disorders』	元井 信	518(5)
新しい間質性肺疾患の血清マーカー KL-6 抗原	小林 淳・北村 諭	965(8)	『レジデント初期研修マニュアル』(第 2 版)	松村 真司	537(5)
子宮内膜異型増殖症	中島 伸夫	1085(9)	『Macintosh によるパワー・プレゼンテーション』	永井 良三	538(5)
臨床検査医のホームページ	西堀 真弘	1086(9)	『泌尿器科ベッドサイドマニュアル』	窪田 吉信	638(6)
virus associated hemophagocytic syndrome [VAHS]	和田 靖之	1201(10)	『神経病理学アトラス』	朝長 正道	692(6)
Mato 細胞	間藤 方雄	1203(10)	『北冥に魚あり』	河合 忠	785(7)
新しい肝炎ウイルス—HGV/GBV-C	上田 一仁・清水 章	1205(10)	『人間ドックマニュアル—健康評価と指導のポイント』	西 満正	884(8)
フライトサーजन	関口 千春	1333(12)	『Thyroid - Guides to Clinical Aspiration Biopsy』第 2 版	坂本 穆彦	890(8)
質量分析の臨床検査への応用	中西 豊文・岸川 匡彦・宮崎 彩子		『血液ガス—わかりやすい基礎知識と臨床応用』第 3 版	二瓶 一夫	906(8)
	清水 章	1456(13)	『カラーアトラス—女性性器・乳腺の細胞診』	矢谷 隆一	914(8)
私のくふう			『標準微生物学』第 6 版	山中喜代治	1008(9)
セロファンチューブを用いた簡単な透析培養法	実川 裕子・長島 陽子	236(2)	『標準放射線医学』第 5 版	河野 通雄	1022(9)
結核菌培養における培地溶解を防ぐ工夫—アルカリ剤処理液の工夫	坂谷 敏子	368(3)	『神経病理学アトラス』	岩田 誠	1030(9)
書 評			『NIM 血液病学』第 4 版	仁保 喜之	1050(9)
『老健法大腸癌検診に対応するための大腸検査法マニュアル』	西沢 護	16(1)	『カラーアトラス 女性性器・乳腺と細胞診』	藤井 雅彦	1142(10)
『臨床のための肝臓病理』	中沼 安二	34(1)	『門脈圧亢進症の病理 肝内血管系の変化を中心に』	奥平 雅彦	1160(10)
『免疫・アレルギー・リウマチ病学』第 2 版	伊藤 幸治	42(1)	『神経病理学アトラス』	長嶋 和郎	1167(10)
『細胞診のベーシックサイエンスと			『標準微生物学』第 6 版	橋本 一	1346(12)
			『機能を中心とした図説組織学』第 3 版	柴田洋三郎	1347(12)
			『心身医学標準テキスト』	糸山 泰人	1368(13)
			『血液ガス』	谷合 哲	1378(13)

海外文献紹介

嚢胞性線維症における肝機能指標としての血清グルタチオンS-トランスフェラーゼ B ₁ 活性 ……鈴木 優治…	6(1)
有機リン酸塩と単球エステラーゼの欠乏/乳児突然死症候群における死後の血液フェリチン濃度…鈴木 優治…	99(1)
慢性C型肝炎における肝細胞障害マーカーとしての α -グルタチオンS-トランスフェラーゼ/ヒト血清中におけるコカインおよびコカエチレンの結合/本態性高血圧症における心筋および骨格筋のグルコース摂取に対するインスリンの作用……………鈴木 優治…	100(1)
長鎖脂肪酸と細胞膜モデルおよび血清アルブミンとの相互作用…………鈴木 優治…	152(2)
鉄の補給は生体内でヒドロキシラジカルを生成する……………鈴木 優治…	159(2)
Hairy cell leukaemiaにおける末梢血液免疫細胞化学の診断的適合性……………鈴木 優治…	256(3)
急性胸痛の初期評価におけるミオグロビン……………鈴木 優治…	296(3)
Waldenström's マクログロブリン血症におけるカルシウム結合IgM パラプロテインによる過カルシウム血症/凝固試験におけるヘパリン汚染と不適当な新鮮凍結血漿輸血のリスクの回避方法……………鈴木 優治…	330(3)
肝移植後のC型肝炎の検出/血清の高分解能電気泳動におけるヘパリンのリポ蛋白質に及ぼす影響……………鈴木 優治…	408(4)
ビタミンCはインスリン非依存性糖尿病患者の内皮依存性血管拡張を改善する……………鈴木 優治…	448(4)
ホルマリン固定, パラフィンワックス包埋標本の免疫組織学的C9染色による心筋梗塞の検出…………鈴木 優治…	698(6)
脂質疾患診療所におけるマイクロアルブミン尿症, リポ蛋白質(a)および冠動脈疾患の頻度……………鈴木 優治…	716(6)
冠動脈ステント植え込み後の経過観察……………谷川 直…	719(6)
ウイルス性肝炎患者の血清中アルコール脱水素酵素(I型およびII型)活性……………池本 正生…	722(6)
亜鉛プロトポルフィリンによる入院患者における鉄欠乏性貧血の検出……………鈴木 優治…	792(7)
リボヌクレオチド還元酵素に対する	

新しいインヒビターであるトリミドックス(Trimidox)の鉄結合能……………池本 正生…	807(7)
心筋障害の検出を目的とした全血中トロポニンTの迅速測定……………池本 正生…	842(7)
ヒト脳アセチルコリンエステラーゼに対するモノクローナル抗体…池本 正生…	883(8)
cystic fibrosisの青年男子における唾液テストステロン濃度…………鈴木 優治…	937(8)
グルタチオンS-トランスフェラーゼアルファ1-1に対するサンドイッチ型ELISA-胃腸障害患者群および対照者における血漿中濃度……………池本 正生…	980(8)
学齡未満児の血液鉛と栄養因子との関連……………鈴木 優治…	984(8)
冠動脈疾患患者の赤血球膜脂質の過酸化と抗酸化防御機構の研究……………鈴木 優治…	1007(9)
II型糖尿病患者における白血球の過酸化脂質, SOD, GSH-Px および血清, 白血球のビタミンCレベル……………鈴木 優治…	1042(9)
酸性化した血漿, 血清におけるヒトリソソーム酵素の室温下での安定性……………鈴木 優治…	1071(9)
血漿中plasmin- α_2 -antiplasmin 複合体を定量する新しいELISA法の考案と臨床応用……………鈴木 優治…	1084(9)
糞便から直接に大腸菌O157を検出する迅速免疫測定法……………小森 敏明…	1222(10)
タンジェール病における角膜の病理(家族性HDL欠乏症)…………鈴木 優治…	1223(10)
<i>Helicobacter pylori</i> 感染患者における十二指腸炎の有無から見た慢性胃炎の組織学……………鈴木 優治…	1224(10)
単核性分化およびVincristine 耐性ヒト白血病細胞(U-937)におけるアポトーシス関連蛋白質の生成……………池田 正生…	1372(13)
HIV-1 侵入誘導因子: 7回膜貫通構造を持つG蛋白質関連受容体のcDNA クローニング ……小森 敏明…	1461(13)
<i>Borrelia burgdorferi</i> に存在するトランスフェリン結合蛋白…………池本 正生…	1434(13)
<i>Mycobacterium avium</i> と結核菌における表皮性成長因子結合蛋白-その機構に関する役割…………池田 正生…	1439(13)

コーヒーブレイク

北の国から……………屋形 稔…	57(1)
花火百景……………屋形 稔…	131(2)
戦後50年……………屋形 稔…	284(3)
宇都宮の学会から……………屋形 稔…	407(4)
静ひつな幸せを……………屋形 稔…	517(5)

哲学の小道……………	屋形 稔…	644(6)
武蔵野……………	屋形 稔…	778(7)
縁に従って……………	屋形 稔…	900(8)
天上台風……………	屋形 稔…	1154(9)
口髭考……………	屋形 稔…	1056(10)
平澤先生のこと……………	屋形 稔…	1251(12)
道は一原に出づ……………	屋形 稔…	1419(13)

その他

〔学会だより〕

第7回アジア太平洋臨床化学会議 ……………戸谷 誠之・佐藤真由美…	113(1)
第43回日本臨床病理学会総会 ……………片山 善章・猪狩 淳…	201(2)
第11回日本環境感染学会総会 ……田場 秀樹…	650(6)
第45回日本臨床衛生検査学会 ……………坂野 富裕・竹下 久子・静 怜子…	951(8)
第85回日本病理学会春期総会 ……覚道 健一…	954(8)
第37回日本臨床細胞学会総会 ……井上 勝一…	1445(13)
第16回国際臨床化学会議 (ICCC) ……………戸谷 誠之・上田 一仁…	1463(13)

〔印象記〕

第2回国際緊急保健医療援助研修 ……………山田 誠一…	1186(10)
--------------------------------	----------

〔お知らせ〕

第10回(平成7年度)臨床検査精度 管理奨励会研究報告会……………	10(1)
第2回日本糖尿病眼学会総会……………	64(1)
第22回日本臨床化学会冬期セミナー……………	108(1)
第3回電顕シンポジウム 感染症へ の電子顕微鏡のアプローチ……………	235(2)
日本臨床病理学会・日本臨床病理同 学院共催 平成8年度二級臨床 病理技術士、緊急臨床検査士資 格認定試験実施要領……………	240(2)
日本生命倫理学会第8回年次大会 ……………	311(3)
1996 ASCP/CAP Fall Meeting and Exhibits to be Held in San Diego, Calif. ……………	323(3)
第26回日本脳波・筋電図学会学術 大会……………	358(3)
第13回日本 TDM(薬物血中濃度モ ニタリング)学会・学術大会 ……………	363(3)
第11回(平成8年度)臨床検査精度 管理奨励会研究奨励金交付募集 要項……………	416(4)
千里ライフサイエンスシンポジウム……………	424(4)
第37回日本臨床細胞学会総会 ……………	435(4)
第36回臨床肺機能講習会 ……………	478(4)
第33回補体シンポジウム ……………	480(4)
第21回日本医用マスペクトル学 会年会/第2回医用マスペク トロメトリー講習会……………	584(5)
日本健康科学学会第12回大会 ……………	616(5)
平成8年度先天代謝異常症検査技術	

者研修会実施要項……………	701(6)
平成8年度公益信託臨床病理学研究 振興基金研究奨励金授与候補者 応募要項……………	746(6)
日米医学協会研究会—Conference on Emerging Diseases ……………	810(7)
第6回国際心臓胸部外科学会世界大会……………	820(7)
平成8年度公益信託臨床病理学研究 振興基金研究奨励金授与候補者 応募要項……………	863(7)
平成8年度日本臨床病理学会・日本 臨床病理同学院共催 一級臨床 病理技術第41回資格認定試験 実施要領……………	920(8)
千里ライフサイエンスセミナー「遺 伝子診療」……………	938(8)
千里ライフサイエンスセミナー第9 回「脳の接着因子—基礎と病態—」……………	938(8)
第8回日本臨床微生物学会総会……………	963(8)
第29回細胞検査士資格認定試験実 施要領(平成8年度)……………	974(8)
第15回(平成9年度)臨床病理学会 国際交流奨励会海外留学補助金 交付募集要領……………	979(8)
インターネットメーリングリスト……………	983(8)
第46回日本臨床衛生検査学会 ……………	1061(9)
第113回液体クロマトグラフィー研究懇談会 ……	1074(9)
第6回肝エネルギー代謝と AKBR 研究会 ……………	1096(9)
国立がんセンターレジデントおよび 専門修練医募集 ……………	1196(10)
第7回千里ライフサイエンス技術講習会 ……………	1207(10)
第8回千里ライフサイエンス技術講習会 ……………	1207(10)
第32回 RI 利用生物基礎医学課程 ……………	1267(12)
第2回臨床エンブリオロジストの会 ……………	1280(12)
公益信託臨床病理学研究振興基金平 成8年度研究奨励金受賞者およ び平成8年度小井望貴顕彰金 受賞者決定 ……………	1292(12)
第12回体液・代謝管理研究会 ……………	1316(12)
第11回サンプリング研究会 ……………	1325(12)
細胞検査士養成所募集要項(1997 年 度)……………	1331(12)
第27回嫌気性菌感染症研究会 一般演題募集 ……………	1348(12)
千里ライフサイエンスセミナー ……………	1446, 1450(13)
〔ニュース〕 Bergmeyer-Kawai 賞……………猪狩 淳…	1345(12)

□今月の表紙/表在性真菌症の臨床検査シリーズ

皮膚カンジダ症1. 直接鏡検および 分離・鑑別培養 ……………山口 英世・内田 勝久・楠 俊雄…	前付(1)
皮膚カンジダ症2. 培養検査および 分子生物学的検査 ……………山口 英世・内田 勝久・村山 琮明…	前付(2)
癬風その他の皮膚マラセチア症	

……山口 英世・内田 勝久・楠 俊雄…前付(3)
 皮膚糸状菌症 1. 原因菌と直接鏡検
 ……山口 英世・内田 勝久・楠 俊雄…前付(4)
 皮膚糸状菌症 2. 分離培養と発育コ
 ロニーの形態学的特徴
 ……山口 英世・内田 勝久・楠 俊雄…前付(5)
 皮膚糸状菌症 3. 分離培養と発育コ
 ロニーの形態学的特徴(続)
 ……山口 英世・内田 勝久・楠 俊雄…前付(6)
 皮膚糸状菌症 4. 顕微鏡観察による
 形態学的特徴……山口 英世・内田 勝久…前付(7)
 皮膚糸状菌症 5. 顕微鏡観察による
 形態学的特徴(続)
 ……………山口 英世・内田 勝久… 870(8)
 皮膚糸状菌症 6. 生理学的/分子生

物学的特徴に基づく検出・同定
 法…山口 英世・内田 勝久・槇村 浩一… 990(9)
 まれな表在性または深在性皮膚真菌
 症の臨床検査・1/黒癬
 ……………山口 英世・内田 勝久…前付(10)
 まれな表在性または深在性皮膚真菌
 症の臨床検査・2/*Scopulariopsis* sp. および *Fusarium* sp. に
 よる爪または皮膚の感染症
 ……………山口 英世・内田 勝久…1230(12)
 まれな表在性または深在性皮膚真菌
 症の臨床検査・3/*Paecilomyces*
 sp., *Alternaria* sp. および *Sce-*
desporium apiospermum によ
 る皮膚の感染症…山口 英世・内田 勝久…1354(13)

日本医師会生涯教育シリーズ

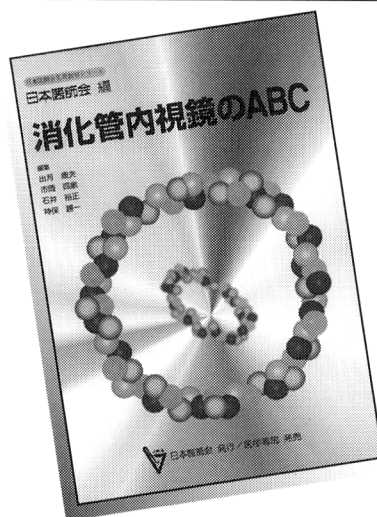
日本医師会 編

消化管内視鏡のABC

編集 出月康夫・市岡四象・石井裕正・神保勝一

本書の特色

- ☐ 定評ある日本医師会生涯教育シリーズの1冊。
- ☐ 消化管内視鏡検査の基本から診断の実際までを、第一線の専門医がやさしく解説。
- ☐ 写真・シエマをふんだんに用い、オールカラーでビジュアルに構成。
- ☐ 消化管内視鏡検査に従事する医師、検査技師、介助者の必携書。



- 全頁カラー印刷
- B5 頁320 図306 写真374
表48 1996
定価5,500円(税込) 千400

[ISBN4-260-17510-6]



医学書院

113-91 東京・文京・本郷5-24-3

☎03-3817-5657 (お客様担当)
 ☎03-3817-5650 (書店様担当)

振替 00170-9-96693

『臨床検査』 第 40 巻 項目別索引

1996 年 第 1 号—第 13 号

数字は頁数, () は号数

あ

アース接続1210(10)
 アーチファクト972(8), 1465(13)
 アイソザイム980(8)
 アスピリン349(3)
 アフィニティ法1268(12)
 アボ(a)イソ型1063(9)
 アボ B1208(10)
 アボ蛋白 E1057(9)
 アボトーシス
79(1), 181(2), 472(4)
 アポリポ蛋白220(2)
 アミロイド A220(2)
 アルカリ性ホスファターゼ843(7)
 アルコール1219(10)
 —脱水素酵素722(6)
 アルツハイマー病1057(9)
 アンジオテンシン転換酵素(ACE)
964(8)
 アンブリコア687(6)
 アンブリコア™ マイコバクテリウム
747(6)
 アンモニア1088(9)
 悪性腫瘍603(5)
 悪性リンパ腫.....主(3)
 —における骨髄像257(3)
 —における末梢血257(3)
 —の REAL 分類263(3)
 —の血清免疫グロブリン検査
313(3)
 —の検査計画279(3)
 —の細胞診307(3)
 —の診療の進め方279(3)
 —の分類263(3)
 —の罹患率の民族差319(3)
 —の歴史263(3)
 安全
 —管理35(1)
 —基準43(1)

い

イメージスキャナ87(2)
 インスリン
 —抵抗性
100(1), 1115(10), 1127(10)
 —分泌動態1115(10)
 インターネット1086(9)
 インチング法779(7)

インフォームド・コンセント 209(2)
 胃炎1224(10)
 易感染宿主959(8)
 胃粘膜生検組織1101(9)
 異型抗体80(1)
 異型肺炎1455(13)
 異性間 BMT331(3)
 遺伝595(5)
 —カウンセリング209(2)
 —相談69(1)
 遺伝子解析1191(10)
 —クローニング1317(12)
 —マーキング939(8)
 —検査
69(1), 73(1), 585(5), 826(7)
 —検査室1451(13)
 —産物解析法596(5)
 —診断702(6), 725(6)
 —診断法693(6)
 —増幅法589(5)
 —治療939(8)
 —導入939(8)
 一酸化窒素(NO)
125(2), 171(2), 598(5)
 陰部クラミジア症639(6)

う

ウイルス602(5)
 —感染223(2)
 —感染症598(5)
 —性肝炎722(6)
 運動神経伝導速度779(7)
 運動単位800(7)

え

エーロゾル11(1)
 エステラーゼ欠乏99(1)
 エンドトキシン79(1)
 壊死性筋膜炎・筋炎392(4)
 液体クロマトグラフィー1252(12)
 塩基配列決定955(8)
 塩素と血圧の関係964(8)

か

カイロミクロン1009(9)
 カットオフ
 —インデックス981(8)
 —値1415(13)
 カテコールアミン 1252(12), 1259(12)

カラムスイッチング HPLC 1097(9)
 カリウム濃度600(5)
 ガドリニウム814(7)
 ガングリオシド821(7)
 家族性筋萎縮性側索硬化症137(2)
 過カルシウム血症330(3)
 過酸化脂質176(2), 1042(9)
 界面活性剤1068(9)
 解糖阻止剤968(8)
 核酸検出法203(2)
 核内封入体223(2)
 活性化359(3)
 活性酸素.....主(2)
 —種843(7)
 喀痰417(4)
 合併症555(5)
 肝
 —移植408(4)
 —機能検査
6(1), 980(8), 1293(12)
 —細胞障害722(6)
 —性トリグリセリドリパーゼ
1013(9)
 冠血管インターベンション505(5)
 冠状動脈疾患716(6)
 冠動脈

—血管形成術719(6)
 —ステント719(6)
 間質性肺炎965(8)
 感覚神経伝導
 —検査786(7)
 —速度(SCV)811(7)

感染性
 —廃棄物17(1), 27(1)
 —物質65(1)
 感度・特異度1409(13)
 含浸標本343(3)
 癌性胸水603(5)

き

キシレン1219(10)
 キメラ蛋白質285(3)
 グランバレー症候群821(7)
 基準
 —個体1379(13), 1383(13)
 —値.....主(13)
 —値設定1063(9)
 —範囲
 1369(13), 1379(13), 1383(13), 1393(13)

——母集団1379(13)
 寄生虫感染症365(3)
 偽血小板凝集739(6)
 偽陽性反応607(5)
 疑似便93(1)
 吸引浸出液(SEF).....1175(10)
 急性心筋梗塞.....296(3),505(5),
 519(5),525(5),550(5),
 559(5),581(5)
 巨核球948(8)
 ——前駆細胞948(8)
 虚血耐性171(2)
 胸痛296(3)
 業務感染11(1)
 凝集コロイド844(7)
 緊急措置58(1)

く

クラス I 機器1210(10)
 クラミジア・トラコマティス
 237(2),631(6),645(6),655(6),
 693(6),975(8)
 クレアチニン1299(12)
 グアニジノコハク酸188(2)
 グラム陽性菌.....主(4)
 グリケーション147(2),1161(10)
 グリコアルブミン(GA)
1137(10),1275(12)
 グリコヘモグロビン(GHb) 1268(12)
 グルコースクランプ法1127(10)
 グルタチオン S-トランススエラーゼ
 B₁6(1)

け

ケトシス1149(10)
 ケトン体1149(10)
 ケラタン硫酸850(7)
 系統分類387(4)
 携帯電話740(6)
 血液
 ——を介する感染11(1)
 ——鉛984(8)
 ——型抗体1337(12)
 ——検査491(4),1213(10)
 ——疾患331(3)
 血球産生875(8)
 血小板1252(12)
 血小板凝固線容系検査.....主(11)
 血漿
 ——酵素1071(9)
 ——濃度479(4)
 血清
 ——Lp(a)濃度1063(9)
 ——抗体702(6)
 ——蛋白100(1),1393(13)
 ——中ビリルビン1293(12)

——マーカー965(8)
 血栓症.....主(11)
 血中薬物濃度1427(13)
 ——モニタリング1237(12)
 血糖
 ——コントロール指標1143(10)
 ——値968(8)
 ——用採血管968(8)
 結核11(1)
 ——菌589(5),747(6)
 研究の検査824(7)
 嫌気性菌399(4)
 検査室
 ——の安全管理.....主(1)
 ——の安全性7(1)
 ——の作業環境58(1)
 検査値1427(13)
 検出頻度417(4)
 原因疾患603(5)
 健診判定区分1403(13)
 検体検査11(1)
 原発性免疫不全症候群1440(13)

こ

コアグラゼ陰性菌387(4)
 コカイン100(1)
 コカエチレン100(1)
 コネキシン 32317(7)
 コレステロール逆転送系1043(9)
 コンタミネーション1451(13)
 ゴノザイム687(6)
 個人基準値1369(13)
 甲状腺844(7)
 交感神経611(5),808(7),852(7)
 交差刺激779(7)
 交流雑音対策1211(10)
 好酸球
 ——性胸水603(5)
 ——増多476(4)
 抗ペプチド抗体883(8)
 抗癌活性807(7)
 抗凝固剤739(6)
 抗原受容体
 ——遺伝子再構成285(3)
 ——遺伝子転座(再配列)285(3)
 抗酸化218(2)
 ——酵素176(2)
 抗体検査404(4)
 抗体産生
 ——時間1337(12)
 ——不全症1440(13)
 抗利尿ホルモン479(4)
 高 HDL 血症736(6),1043(9)
 高トリグリセリド血症1013(9)
 高レムナント血症1023(9)
 高脂血症 716(6),997(9),1208(10)

高蛋白質1088(9)
 高尿酸血症の診断基準1437(13)
 高比重リボ蛋白1043(9)
 梗塞
 ——サイズ575(5)
 ——領域166(2)
 構造蛋白555(5)
 骨髓
 ——バンク931(8)
 ——長期培養法885(8)
 ——微小環境946(8)
 誤差479(4)

さ

サイトカイン
79(1),901(8),1201(10)
 サザンブロット1075(9),1079(9)
 サブクラス313(3)
 サンドイッチ ELISA850(7)
 再灌流166(2)
 ——療法531(5),559(5)
 細菌
 ——感染症472(4)
 再生神経771(7)
 再疎通570(5)
 再発火確率800(7)
 細胞可溶性分画513(5)
 細胞質
 ——突起948(8)
 ——内封入体223(2)
 細胞周期 Go 期891(8)
 細胞診743(6),944(7)
 細胞免疫異常192(2)
 採血管自動準備装置109(1)
 採便容器93(1)
 最大吸気611(5)
 最大呼気611(5)
 臍帯血
 ——バンク926(8)
 ——移植926(8)
 ——幹細胞926(8)
 参考値980(8)
 酸化 LDL1072(9)
 ——リセプター1203(10)
 酸化還元反応153(2)
 酸化的ストレス218(2)
 酸性ヒドラーゼ1071(9)
 酸素ストレス181(2)

し

シールドマット1211(10)
 シスタチン C1463(13)
 システム1243(12)
 シャルコー・マリー・トゥス病
811(7),817(7)
 シリコンゴム343(3)

ジゴキシン369(3)
糸球体
——腎炎214(2)
——濾過機能(GFR)1463(13)
子宮内膜1085(9)
示差走査熱量測定法1223(10)
脂質
——過酸化132(2)
——蓄積症152(2)
脂肪酸結合蛋白575(5)
自己
——抗体80(1)
——複製能891(8)
自動化457(4)
自動血球分析装置481(4), 491(4)
自動網赤血球測定装置1213(10)
軸索
——障害793(7)
——変性771(7)
疾患特異性824(7)
実用基準法1304(12)
写真87(2)
腫瘍マーカー160(2), 1415(13)
集団基準値1369(13)
十二指腸炎1224(10)
重症度531(5)
重量単位1341(12)
術中迅速診断303(3)
除菌981(8)
小粒子径 LDL (small, dense LDL)
.....1031(9), 1314(12)
消毒法17(1)
蒸留器1219(10)
食物
——脂肪984(8)
——繊維470(4)
心筋梗塞539(5), 545(5),
565(5), 570(5)
——の生化学的マーカー.....主(5)
心筋
——トロポニン I581(5)
——ミオシン軽鎖555(5)
——構成成分550(5)
——構成蛋白581(5)
——障害842(7)
——特異性酵素539(5)
真空採血管109(1)
神経
——症候760(7)
——伝達物質1259(12)
——伝導検査771(7), 800(7)
——伝導速度771(7)
神経管欠損症883(8)
侵襲的検査824(7)
新鮮凍結血漿輸血330(3)
迅速

——細胞診743(6)
——診断1460(13)
——定量法842(7)
——判定法559(5)
腎後性出血855(7)
心拍変動852(7)

す

スーパーオキシド147(2)
——ジスムターゼ(SOD) ...主(2)
スーパー抗原392(4)
スカベンジャーレセプター1072(9)
スクリーニング検査717(6)
ストレプトグラム409(4)
ストローマ細胞891(8)
垂直感染404(4)
睡眠
——ポリグラフ検査487(4)
——時呼吸障害487(4)
——脳波自動解析装置487(4)
睪癌846(7)
髄液1259(12)
髄膜炎602(5)

せ

セロトニン1259(12)
生化学的診断法505(5)
生物界分布137(2)
生物活性単位1341(12)
生理機能検査17(1)
生理的変動1373(13)
成人病健診の基準値1403(13)
成績乖離要因222(2)
性感染症(STD)主(6)
——の疫学639(6)
——の細胞診673(6)
性器ヘルペス639(6), 659(6)
制限酵素826(7)
静電誘導1211(10)
赤血球凝集481(4)
接合伝達性プラスミド443(4)
接着分子896(8), 946(8)
尖圭コンジローマ639(6), 663(6)
先天性疾患152(2)
穿刺吸引細胞診347(3)
前処理
——の自動化1243(12)
——法368(3)

そ

ソフトイオン化質量分析法1460(13)
ソルビートルマッコンキー寒天培地
.....1222(10)
組織・細胞低酸素1442(13)
組織傷害192(2)
早期診断513(5), 531(5)

総コレステロール1435(13)
総合精度管理49(1)
総合的全自動臨床検査システム
.....109(1)
造血因子875(8)
——受容体896(8)
造血幹細胞.....主(8)
——移植907(8)
臓器移植241(2)
測定体系1268(12)

た

タンジェール病1223(10)
立ち上がり潜時811(7)
多剤耐性肺炎球菌431(4)
多波長検出器1243(12)
多変量解析1383(13)
体性感覚誘発電位(SEP)811(7)
対地電位1211(10)
大腸菌
——O 1571222(10)
——群101(1)
大複殖門条虫365(3)
脱髄767(7), 771(7)
——性ニューロパチー779(7)
単一筋線維筋電図793(7)
単球99(1)
単純ヘルペスウイルス
.....659(6), 699(6)
短期的血糖管理指標1275(12)
男子尿道炎患者975(8)

ち

治療域1427(13)
遅発性溶血性輸血副作用1337(12)
着床前診断209(2)
長鎖脂肪酸152(2)
超急性期診断575(5)
腸球菌443(4), 449(4)
直接測定法1068(9), 1309(12)
沈澱法1309(12)

て

データ処理1243(12)
デジタルスチルカメラ87(2)
低濃度アルカリ剤368(3)
定量
——性227(2)
——的解析1093(9)
——脳波分析359(3)
——標準曲線1093(9)
——法457(4)
適正処理27(1)
鉄
——結合能807(7)
伝導ブロック767(7), 779(7)

伝導遅延767(7)
電気泳動408(4)
電気設備の安全管理49(1)
電極972(8)
電撃対策49(1), 1210(10)
電子
——カメラ87(2)
——スピコン鳴法159(2)
——ブック1089(9)
——辞書1089(9)
——百科事典1089(9)
電磁障害740(6)

と

トランスジェニックマウス 1057(9)
トリグリセリド1031(9), 1435(13)
トリミドックス807(7)
トレーサビリティ1268(12)
トロポニン
——T505(5), 559(5), 842(7)
トロポポエチン948(9)
ドライケミストリー842(7)
凍結組織標本303(3)
糖のながれ1115(10)
糖化反応1137(10)
糖脂質821(7)
糖蛋白抗原965(8)
糖尿病
176(2), 595(5), 1042(9), 1275(12),
主(10)
——合併症1161(10)
——性ケトアシドーシス 1149(10)
同時測定法706(6)
同種骨髓移植931(8)
同種末梢血幹細胞移植921(8)
動脈血ガス1442(13)
動脈硬化220(2), 736(6),
997(9), 1023(9), 1043(9),
主(9), 1314(12)
特殊感染症例23(1)
特別管理廃棄物27(1)

な

内膜異型増殖症1085(9)
捺印細胞診734(6)

に

ニューキノロン薬耐性リン菌 720(6)
ニューロパチー主(7)
乳児生化学検査参考範囲1399(13)
乳児突然死症候群99(1)
尿酸1299(12)
尿素サイクル1088(9)
尿蛋白1304(12)
尿中 α_2 -マクログロブリン855(7)
——HIV-1 抗体717(6)

——白血球数859(7)
尿中マクロファージ214(2)
尿沈渣975(8)
尿道炎720(6)
尿路感染症449(4), 859(7)
尿路上皮223(2)
人間ドックの基準値1403(13)

ね

ネクロシス181(2)
熱ショック蛋白質472(4)
粘液細胞過形成846(7)
年代別353(3)

の

ノーザンブロット1075(9)
ノイラミニダーゼ(シアリダーゼ)
.....475(4)
脳虚血171(2)
脳細血管1203(10)
脳卒中545(5)
脳波359(3)
膿尿859(7)
嚢胞性線維症6(1)

は

ハイブリダイゼーション203(2)
バーコード109(1)
バイオセンサ1175(10)
バイオハザード23(1)
バンコマイシン1097(9)
パーオキシナイトライト598(5)
パターン B1031(9)
パニック値1421(13)
パルスフィールドゲル電気泳動法
.....1191(10)
肺炎球菌417(4)
肺炎マイコプラズマ1455(13)
廃液1219(10)
廃棄物処理35(1)
白血球227(2), 1042(9)
——数975(8)
——分類603(5)
発熱性毒素392(4)
半減期513(5)

ひ

ヒト・ゲノム・マッピング69(1)
ヒト回虫476(4)
——心臓脂肪酸結合蛋白565(5)
——乳頭腫ウイルス663(6)
——免疫不全ウイルス706(6)
ヒドロキシラジカル159(2)
ビタミン
——C1042(9)
——E218(2)

ピューロマイシン腎症188(2)
非リン菌性尿道炎655(6)
非観血的血糖測定1175(10)
非定型抗酸菌589(5)
非標識86(1)
泌尿生殖器癌663(6)
腓腹神経生検824(7)
百科事典1089(9)
表面プラズモン共鳴468(4)
標準化1268(12)
標準
——血清1068(9)
——脳電位図353(3)
頻拍1465(13)
微好気性レンサ球菌350(3)
病態識別値1409(13)
病理解剖23(1)

ふ

フェリチン99(1)
フライトサーजन1333(12)
フラビウイルス科1205(10)
フルクトヘモグロビン1268(12)
フローサイトメトリー214(2)
ブタ回虫476(4)
プラスティネーション343(3)
プラスミド596(5)
プロウイルス336(3)
プローブ203(2)
プロラクチン(PRL)1341(12)
不安定型グリコヘモグロビン
.....1268(12)
不安定狭心症559(5)
不顕性感染836(7)
浮遊容量1211(10)
副交感神経852(7)
複合
——神経活動電位786(7)
——神経電位771(7)
——免疫不全症1440(13)
複雑型子宮内膜増殖症469(4)
分子切断843(7)

へ

ヘテロ型耐性381(4)
ヘパリン408(4)
——汚染330(3)
ヘモグロビン93(1)
—— A_{1c} (HbA_{1c})1268(12)
ヘリコバクター・ピロリ
.....1101(9), 1224(10)
——抗体981(8)
ペニシリン耐性肺炎球菌
.....425(4), 431(4)
ペルオキシナイトライト166(2)
平均電位基準電極359(3)

平衡型頭部外基準電極 ……359(3)
米国の医療保障制度 ……82(1)
変異蛋白質 ……1460(13)
便性状 ……470(4)
便潜血 ……93(1)
——検査 ……222(2)
便量 ……470(4)

ほ

ホームページ ……1086(9)
ホジキン
——リンパ腫 ……297(3)
——細胞 ……271(3), 322(3)
——病 ……322(3)
ホモ型耐性 ……381(4)
ホルター心電図 ……1465(13)
ホルマリン固定 ……227(2)
ポリアクリルアミドゲル(PAG)
………475(4)
ポリフェノール ……216(2)
ポルタジャーム・ピロリ ……1101(9)
保護具 ……65(1)
保護設置 ……1210(10)
保存期間 ……600(5)
保存率 ……1101(9)
放射性物質
——による汚染 ……53(1)
——の取り扱い方 ……53(1)
本態性高血圧症 ……100(1)
母子感染 ……639(6)

ま

マイクロニューログラフイー 786(7)
マイヤー反応 ……147(2)
マクロ
——ショック ……43(1)
——ファージ ……1203(10)
——筋電図 ……793(7)
マラリア ……105(1)
マンソン住血吸虫 ……365(3)
マントル細胞リンパ腫 ……324(3)
末梢血幹細胞 ……915(8), 921(8)
——採取 ……1213(10)
慢性関節リウマチ ……231(2)

み

ミエロペルオキシダーゼ ……859(7)
ミオグロビン
………296(3), 565(5), 570(5)
ミオシン軽鎖 ……505(5)
ミクロアルブミン尿症 ……716(6)
ミクロショック ……43(1)
ミクロゾームトリグリセリド転送蛋白
(MTP) ……1208(10)
ミトコンドリア ……595(5)
ミニセル ……596(5)

ミニマルモデル法 ……1127(10)

め

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
(MRSA) ……1191(10)
メチルグアニジン ……188(2)
滅菌法 ……17(1)
免疫
——化学発光法 ……519(5)
——学的検査法 ……693(6)
——学的測定法 ……883(8)
——阻害法 ……519(5), 525(5)
——組織化学 ……679(6)
——沈降法 ……1460(13)
——反応 ……86(1)

も

モノクローナル抗体
………699(6), 850(7), 980(8), 1084(9)
目標摂取量 ……470(4)

や

薬剤感受性 ……425(4)
——検査 ……437(4)
薬剤耐性 ……443(4)

ゆ

輸血用赤血球製剤 ……600(5)
輸送培地 ……1101(9)
有害・危険物質 ……35(1)
有害化学物質 ……65(1)
有機リン酸塩 ……99(1)
有機溶媒 ……1219(10)
融合遺伝子 mRNA ……285(3)

よ

溶血液 ……93(1)
幼若白血球 ……491(4)
羊水 ……883(8)

ら

ラテックス免疫比濁測定法 ……855(7)

り

リアルタイム ……86(1)
リウマチ因子 ……80(1)
リソソーム
——酵素 ……1071(9)
——貯蔵病 ……1071(9)
リボソーム ……387(4)
リボヌクレオチド還元酵素 ……807(7)
リポ蛋白 ……408(4), 1314(12), 主(9)
——A-I (LpA-I) ……1051(9)
——A-II (LpA-II) ……1051(9)
——リパーゼ ……1013(9)
——分析システム ……1281(12)

リポ蛋白(a) ……716(6)
リン菌(*Neisseria Gonorrhoeae*)
………975(8), 1197(10)
——感染症 ……645(6), 651(6)
臨床

——化学検査 ……1247(12)
——検査医 ……1086(9)
——参考範囲 ……1399(13)
——診断 ……1237(12)

れ

レクチン(小麦胚芽レクチン:WGA)
………475(4)
レトロウイルス ……669(6)
レムナント ……1009(9)
——リポ蛋白 ……1023(9)
レンサ球菌 ……399(4)

ろ

労働災害 ……58(1)

A

acridine orange ……105(1)
AGE ……1161(10)
AIDS ……669(6)
anginosus group ……409(4)
antibody capture assay ……345(3)
APC ……345(3)
apnea ……487(4)
APTT ……330(3)
azotemia ……1444(13)
A 群レンサ球菌 ……392(4)

B

bDNA 法 ……463(4)
B/T(brain/total-PGAM) ……545(5)
B 型肝炎ウイルス ……836(7)

C

CA-125 ……607(5)
CAP の実地監査 ……7(1)
Carpal Tunnel 症候群 ……814(7)
CD 15(Leu M1) ……271(3), 297(3)
CD 30(Ki-1) ……271(3), 297(3)
CD 34 ……896(8), 907(8)
CD 34 陽性細胞 ……1213(10)
CD 36 ……1072(9)
CD-ROM ……1089(9)
CEDIA 法 ……369(3)
CETP ……736(6), 1043(9)
C-fiber ……808(7)
CK-MB
——活性(CK-MB・Act) ……519(5)
——蛋白(CK-MB・Pro) ……519(5)
CK アイソフォーム ……525(5)
CMT(Charcot Marie Tooth)病

.....331(3)
 CMV 抗原血症959(8)
 COBAS MIRA369(3)
 complex469(4)
 CRM 4701393(13)
 CRP1121(10)
 C 型肝炎100(1), 408(4), 463(4)

D

DCCT1131(10)
 Diff-Quik 染色347(3), 743(6)
 DNA
 ...595(5), 725(6), 826(7), 1317(12)
 —シーケンサー1093(9)
 —タイピング241(2)
 —プローブ1197(10), 1326(12)
 —修飾酵素1317(12)
 —抽出73(1), 585(5)
 —定量227(2)
 DRGs82(1)

E

EBERs341(3)
 EB ウイルス341(3)
 EDTA
 —依存偽性血小板減少症 481(4)
 —塩739(6)
 EIA1341(12)
 ELISA231(2), 717(6),
 859(7), 981(8), 1222(10)
 EMC43(1)
 endometrial hyperplasia469(4)

F

FFT852(7)
 fibrinolysis1084(9)
 Fisher 症候群821(7)
 FITC 標識プライマー1093(9)
 F 波800(7)

G

GA(グリコアルブミン)
1137(10), 1275(12)
 Gadolinium814(7)
 GB virus C1205(10)
 GBS404(4)
 G-CSF907(8), 921(8)
 Geckler の分類417(4)
 Gen プローブ法687(6)
 GSH-Px1042(9)

H

Hairy cell leukaemia256(3)
 HAMA80(1), 607(5)
 HbA_{1c}1131(10), 1143(10), 1169(10)
 HCV RNA100(1)

HCV-PCR408(4)
 HDL1223(10)
 —コレステロール
1068(9), 1309(12), 1435(13)

Helicobacter pylori

.....1101(9), 1224(10)
 —抗体981(8)
 hemophagocytic syndrome 1201(10)
 Hepatitis G virus1205(10)
 HFR1213(10)
 HIV669(6), 714(6)
 —感染症631(6)
 HLA-DR 抗原241(2)
 HMOs82(1)
 HPLC主(12), 1169(10)
 —紫外部検出法1304(12)
 HPV702(6)
 HTLV-I1079(9)
 hypopnea487(4)

I

IDDM1155(10)
 ID ラベル109(1)
 IgG rheumatoid factor231(2)
 IgM607(5)
 —パラプロテイン330(3)
 IL-12345(3)
 IMI チャンネル491(4)
 immuncytochemistry256(3)
in situ hybridization
341(3), 679(6)
in vitro 増幅901(8)
 inhibition1339(12)
 internal control1339(12)
 IP メッセージ481(4)
 IRI1121(10)
 IRMA1341(12)

J

JDS
 —推奨法1268(12)
 —標準品1169(10)

K

Ki-ras846(7)
 KL-6 抗原965(8)

L

LB-BGLB 法101(1)
 LCR1197(10), 1326(12)
 LD₁ アイソザイム539(5)
 LDL
 —計算式1309(12)
 —コレステロール
1281(12), 1435(13)
 LpA-I (リポ蛋白 A-I)1051(9)

LpA-II (リポ蛋白 A-II)1051(9)
 LTC-IC885(8)

M

Managed care82(1)
 MASON-LIKAR 法972(8)
 MCLA(CLA) 依存性化学発光
153(2)
mecA 遺伝子381(4), 729(6)
 mitis group409(4)
 MMO-MUG 法101(1)
 MRI814(7)
 MRSA729(6), 1097(9)
 multilobated リンパ腫734(6)
 M 蛋白313(3)
 M 波771(7)

N

NCCLS 標準書7(1)
Neisseria gonorrhoeae (リン菌)
975(8), 1197(10)
 nested PCR336(3), 836(7),
 1455(13)
 NO(一酸化窒素)
125(2), 132(2), 171(2), 598(5)

O

ONPG101(1)

P

P₀ 蛋白817(7)
 Pasteur 点125(2)
 PBP 2'729(6)
 PCR457(4), 463(4),
 699(6), 706(6), 729(6),
 955(8), 959(8), 1079(9),
 1197(10), 1326(12), 1339(12)
 —RFLP1075(9)
 —検査室1451(13)
 PET100(1)
 PGAM (phosphoglyceric acid mutase)
545(5)
 PHS740(6)
 PISP437(4)
 plasmin- α_2 -antiplasmin1084(9)
 PMP 22817(7)
 pre β LpA-I1051(9)
 prostacyclin349(3)
 proteinuria1443(13)
 PRSP437(4)

Q

quantitative buffy coat analysis
105(1)

R
Rapid ID 32 STREP409(4)
Reed-Sternberg(RS)細胞271(3)
RFLP法725(6)
RI 検査53(1)
RLP1023(9)
RNA 抽出73(1), 585(5)
ROC 曲線1409(13)
RT-PCR336(3), 1093(9)

S
S. anginosus350(3)
S. constellatus350(3)
S. intermedius350(3)
SE-9000491(4)
slowly progressive IDDM 1155(10)
SMBT1131(10)
small, dense LDL(小粒子径)
.....1031(9), 1314(12)
SOD(スーパーオキシドジスムター
ゼ)主(2), 1042(9)

SPM 法353(3)
SPR センサー468(4)
SSCP955(8)
SSR611(5)
STD(性感染症)主(6)
Streptococcus milleri399(4)
Streptococcus pneumoniae417(4)
sympathetic skin response 808(7)

T
TG-rich リポ蛋白1009(9)
thromboxane A₂349(3)
TMA-HPA 法241(2)
T 蛋白抗原型392(4)

V
virus associated hemophagocytic
syndrome1201(10)
VLDL1009(9)

W
Waldenström'sマクログロブリン血症

.....330(3)

Z
Z 検定353(3)
Z マップ353(3)

その他
1,5 アンヒドログルシトール
.....1143(10)
2 段階高速液体クロマトグラフィ法
.....1137(10)
75 g ブドウ糖負荷 2 時間血糖値
.....1433(13)
% VC611(5)
ΔIRI/ΔBG1121(10)
α-グルタチオン S-トランスフェラー
ゼ100(1)
β₂-マイクログロブリン1463(13)
β-ガラクトシダーゼ101(1)
β-溶血レンサ球菌392(4)

■薬物治療の基本的な考え方と処方の実際

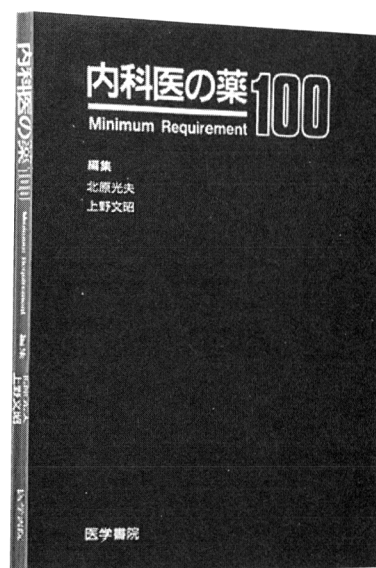
◎これだけ知っていればもう安心。

内科医の薬 100

Minimum Requirement

編集 北原光夫 東京都済生会中央病院内科部長
上野文昭 東海大学大磯病院内科講師

日常診療に頻繁に用いるために内科医が精通しておくべき
薬剤を100種に限定し、その作用機序、剤型、病態に応じた使
用法、代謝・排泄、薬物相互作用、副作用、同種薬剤について、
著者らの臨床経験を基に実践的に解説。これだけ知ってい
ればほとんどの内科診療をカバーできる。



●B6 頁240 図3 1993 定価3,605円(税込) ¥400 [ISBN4-260-10836-0]



医学書院

1113-911 東京・文京・本郷5-24-3

☎03-3817-5657 (お客様担当) 振替 00170-9-96693
☎03-3817-5650 (書店様担当)